

## BEASTARS 世界のトリビア

### 学園の日常生活

#### ●学園

- ・チェリートン学園は数少なくなった肉食草食の共学校。授業や部活はいっしょに行うが、寮は分かれている。肉食が草食棟に入るのは禁止。肉食が草食に怪我をさせると退学処分（第1話）
- ・しかし、世相を受けて学園は肉食草食のクラス分け、種族合同の部活の活動休止を発表。これに対し、学生たちは反対運動を起こす（第78話）

#### ●衣

- ・制服は5Sから5Lまで。しっぽの穴は各々カスタマイズ（1巻・巻末）
- ・シカが着る服はよく伸びるストレッチ素材で作られている（2巻・巻末）
- ・全身に柄があるチーターは柄物の服が似合わない（第70話）
- ・羊はポリエステル製の服は感電の危険から避ける（第70話）
- ・イヌ科の動物たちは夏前に自分でサマーカット（第18話）
- ・角の生え替わりに際し、フェイク品をオーダー（第26話）

#### ●食

- ・学食では草食用、肉食用でメニューが異なる（第6話）
- ・学食メニュー例  
草食「にんじんとお豆のミルク煮」（第4話）、「蒸し野菜、おからのドーナツ、豆乳」（第6話）  
肉食「トースト、スクランブルエッグ、豆バーグ、牛乳」（第6話）
- ・自動販売機に「またたび茶」トラのビルが購入（第48話）
- ・肉食獣にとって餅は重要なカロリー源で高級食材。（第116話）
- ・レゴシは時々深夜にカップラーメン？を食べている。（6巻巻末）

#### ●住

- ・寮は「イヌ科部屋」の中でも種類がかぶらないように部屋割りされている。例：（レゴシの部屋）ハイロオオカミ／ブチハイエナ／コヨーテ／イングリッシュシープドッグ／フェネック／ラブラドルレトリバー
- ・便器のサイズもさまざま（1巻・巻末）

#### ●その他・生活

- ・「無印獣品」レゴシの部屋にある紙袋（第2話）
- ・「ズーズルマップ」（第22話）
- ・「ビーストブック」人気のSNS（第70話）
- ・歯磨き粉に「大型肉食」「中型肉食」の種類あり（第48話）
- ・メスの鳥類の多くは自分の無精卵を飲食店に売るアルバイトをしている（第20話）

## ●娯楽

- ・エロ本も存在。レゴシの寮の部屋のドアの内側にはだれかが貼ったイヌのグラビアポスターが（第41話）
- ・書籍『小動物と仲良くなる方法』『小動物との距離』『ウサギのサイン』をレゴシが所持。ハウツー本も豊富のよう（第43話）
- ・第4話でハルが読んでいる文庫本は「動物失格」。
- ・つき合ったらキケンといわれる男子「30」はオランウータン（頭がよくてメスを楽しませる）、オウム（お喋りが得意）、オオカミ（絶倫）（9巻・巻末）
- ・肉食獣のオス同士のポピュラーな遊び「アゴくらべ」は、くわえた縄を引っ張り合ってアゴの強さを競うもの（第67話）
- ・ジャックとレゴシが遊んでるTVゲームは「バイオハズード」（第11巻カバー裏）

## ●学内貼り紙集

- ・「先日アジアゾウの生徒にぶつかったシマリスの生徒が全身に複雑骨折を負いました。小動物は必ず壁際を歩くようにしましょう。大動物は視野を広げて」（第20話）
- ・「小動物の先生方 生徒たちは申し訳ありませんが、脚立や踏み台をご利用ください」購買部（第20話）
- ・「オニプレートカゲのしっぽが本館に落ちていました。医務室で預かっています」（第45話）
- ・「階段の上り下りは足元を見て!!」（第45話）
- ・「肉食は草食に優しく 草食は肉食に穏やかに 円満な学園生活」（第45話）
- ・「走らない!」「小動物は壁際を歩く」（第53話）

## 社会

### ●ビースターについて

- ・全国の大きな学園から1匹選出されるのが「青獣ビースター」。(第53話)
- ・学校全体の統率を担い、この世界の差別や恐怖を超越する英雄的存在となる。歴代のビースターは卒業後もスポーツ選手や政治家として本格的にこの世界を牽引する(第6話)
- ・青獣ビースターは、卒業後高い地位を得て特訓を受け、その中から1匹だけが世界を牽引する「壮獣ビースター」に選ばれる。
- ・ビースターの選出については全種族の長が集まる「全生物集結評議会」で議論される(第53話)
- ・現在のビースターが草食であるため草食中心の社会になっている？

### ●公共の場

- ・公共の場で牙をむくのはマナー違反(第6話)。また爪を隠すのがマナー(第106話)。
- ・肉食が草食に牙を向けるのは法律で禁じられている(第11話)
- ・鳥類の「飛行免許証」は学校を卒業しないともらえない(第22話)
- ・現市長(ライオン)は、牙を抜いて総入れ歯にし、善良な顔立ちになるよう総額400万円をかけて整形している。(第36話)(5巻・巻末)
- ・電車では、哺乳類車両、爬虫類車両などがある。爬虫類車両は除湿器、暖房完備(第61話)。草食専用車両があるが、草食は雑種車両に乗ることもできる(100話)
- ・基本マナーは大型動物が小型動物に道をゆずる(1巻・巻末)。しかし、ネズミなどの極小動物は踏まれないよう壁際を歩くなど注意している(第6話)
- ・小動物のため天井近くに通路が作られている(第50話)
- ・毒を持つ動物は差別され、銭湯やプール、レジャー施設は立入禁止。レゴシの祖父(コモドオオトカゲ)は飲食店に入るときは人目につきにくい席を選び、カトラリーやストローは持参(第106話)

### ●食

- ・肉食が草食を食用目的で殺す行為は「食殺」と呼ばれる(第21話)
- ・肉を食べること、特に生きた肉を食べることは重罪。街の飲食店にも肉はない(第6話)。ただし、肉食のアスリートや軍人は秘密裡に摂取している(第63話)。動物の血を摂取するのも同様(第14話)
- ・「食肉前科獣」の記録が残ると、草食肉食共学の学校への進学は難しくなる。草食が重役を務める会社が増える昨今、就職活動も厳しくなる。草食との異種族婚が不可能になる(第98話)
- ・食肉すると中毒症状に悩まされる(第68話)。
- ・タンパク質は基本的に豆や乳製品、卵でとる(第6話)
- ・虫の補食は許されている(第8話)

### ●慣習

- ・隕石祭=恐竜はすべての動物にとって祖先であり神でもある特別な存在である。絶滅した恐竜の霊を迎え入れるお盆のような祭り(第18話)

## ●生態

- ・身長2mを超えた肉食のクマ科は、政府から筋肉を萎縮させる薬の服用を義務づけられている。激しい頭痛などの副作用をとまなう。(第76話)
- ・すべての動物は2日に1回「生態時間」(日常生活を快適に過ごせるように自分の生態に合った環境の部屋で1時間過ごす)をこなさなければならない(第8話)
- ・海洋生物(魚類)は海洋語という言葉を使う。海獣も海洋語のネイティブ。海洋語は学校の科目になっている。

## ●婚姻

- ・固有の種を生むことが正しいとされており、異種族間の結婚はあまり良い目では見られない(4巻・巻末)。同種族間で、特に珍重される血統同士のカップルは優位。例:「絶滅危惧種のハーレクイン種同士のカップル」(第4話)
- ・異種族婚は10年前に認められるようになった。サイズの差異は問われない(第98話)
- ・ただし以下の異種族婚は認められない。「大陸生物と海洋生物」「身体に毒を持つ生物と毒を持たない生物」「食肉前科獣と草食獣」(第98話)。レゴシの祖父(毒を持つコモドオオトカゲ)とオオカミの婚姻は法的に認められていないため、レゴシと祖父は戸籍上は他人(第104話)
- ・卵生と胎生の組み合わせでの妊娠は500分の1以下のレアケース(第103話)

## ●裏市

- ・裏市では、草食の肉や血を販売している。ハクトウワシのアオバいわく「肉食なる大人になれば必ず利用することになる」(第21話)。裏市の肉は病院や葬儀屋が密かに提供しているものが多い(第24話)。生きたまま自分の体の一部を売る商売をしている者もある(第23話)。生き餌の売買は裏市の中でもかなりのタブー(第33話)
- ・裏市のストリップ小屋は、「食欲も性欲も刺激する場所」として機能(第64話)
- ・裏市を仕切る裏組織はシシ組(ライオン)以外にもイナリ組(キツネ)、マダラ組(ジャガー)、ドク組(オオトカゲ)などがある(第54話)
- ・裏市で販売される「威怪薬」は、複数の生薬と肉食獣の素材から作られる医薬品。経済的に追い詰められた肉食獣が体の部位を売買することも(第80話)

## ●歴史

- ・約100年ほど前、ウマ科とイタチ科の口論から始まり、世界中の草食と肉食を巻きこむ大戦争が起こった。1年半で終結(第49話)
- ・戦後に、オオカミを品種改良(闘争心を弱くして知能を強化)してイヌという種族が生まれた。(第49話)